一般財団法人脳神経疾患研究所　令和７年度 事業報告書

１　事業概要

当財団は、令和６年に新理事長が就任し人事を刷新し、新たな事業推進体制により「すべては患者さん・利用者さんのために」という理念のもとに救急医療の拡充、高度先進医療の推進、予防医学の推進、更に介護・福祉との連携を強化し、多様化するニーズに的確に対応した医療・介護・福祉サービスの新たな事業を展開するとともに、既存事業の強化・拡充を推進してきました。新型コロナウイルス感染症が２類から５類に移行した後も感染症対策に継続して取り組み、総合南東北病院は郡山市で初めての「第二種感染症指定医療機関」に福島県から指定されるなど、地域の医療体制の維持・拡充に努めました。

令和７年度の本院建替プロジェクトの進捗については、令和４年に建て替え予定地である約 15ha の旧福島県農業試験場跡地を協力企業と共に取得し、メディカルヒルズ郡山基本構想に基づいた「まちづくり」について協議会及び住民説明会を開催すると共に、郡山市を始め行政等の指導を受けながら地区計画の作成を進めました。また、当該地区への病院移転建設に向け、変化する社会環境のもと、医療への様々なニーズを的確に取り入れ「新興感染症への対応」「高度・広域救急への対応」「災害医療への対応」を中心とした新しい総合病院建設プランの作成に取り組みました。

創立 40 周年を機に、医学の発展と将来の地域医療を担う医学生などを支援するため「渡邉一夫記念奨学金」を創設し令和４年度から運用を開始し、これまで 10 名を支援しました。

また、世田谷区梅ヶ丘の「東京リハビリテーションセンター世田谷」は介護老人保健・障害者支援・回復期リハビリの複合施設として開所してから７年目となり、これまでの活動を世田谷区と共に検証するとともに、更なる連携強化による稼動率の向上を実現しました。同じく７年目となる「南東北創薬・サイクロトロン研究センター」も、ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）の適応診断・PET 薬剤を使用した臨床研究など、着実に成果を上げています。

病院等の事業については、入院患者数は前年度から 12,000 人ほど増加しましたが、外来患者数では 33,800 人ほど減少し、手術件数は法人全体（本院、医療・眼科クリニック、福島病院）で 126 件減の 10,870 件となりました。また、高性能の心・血管Ｘ線撮影装置を備えたハイブリッド手術室などでは、本年度は４12 件の手術を実施し、手術支援ロボット「ダヴィンチ」は 311 症例の実績となりました。

介護老人保健施設等の事業において、前年度からの入所施設実績は新型コロナウイルス感染症の鎮静化などにより延べ 1,500 人ほど増加し、通所施設は延べ 1,400 人ほど増加しました。

南東北グループの各病院等による実績報告や新型コロナウイルス感染症対策などのテーマで TV 会議を頻繁に開催し、グループ間の情報共有や意見交換など連携を維持・強化すると共に、医療材料や医薬品等の南東北グループとしての共同購入や PFM など様々な取り組みを進めてまいりました。また、令和４年に南東北グループの一員となった医療法人あさひ会

はグループからの支援などにより業務改善を進め安定稼働に取り組みました。同年、グループの職員採用業務のセンター化を目指し設立した一般社団法人 STR ヘルスケアグループは職員採用や経理事務など支援業務の拡充・強化に努めました。このように、毎年着実に医療、介護、福祉事業等を推進し、グループ全体では、令和８年３月時点で９法人、職員数約9,000人、事業所数約 100 施設までに成長しました。

２　主要な計画の進捗状況

1）当法人は、南東北グループの中心法人として、現地での各種会議への参加や Web 等の活用による会議などを開催し、グループ法人間の情報共有化・意見交換などの連携強化を図ることにより、各種事業を効率的、効果的に推進しました。

・16 ゼロ作戦の推進

・稼働率の向上、新型コロナウイルスを始め各種感染症拡大防止対策の徹底

・本院建替プロジェクトではメディカルヒルズ郡山の地区計画策定に向け郡山市など行政と協議を進めると共に、当該地への本院移転建替計画の検討を進めました。また、令和４年に南東北グループの一員に迎えた医療法人あさひ会とグループ各施設との連携体制を強化し稼働率の向上に努めました。さらに、同年設立した一般社団法人 STR ヘルスケアグループは、グループの職員採用業務や経理支援業務などの効率化や事業拡充に取り組むなど、グループ法人の各種プロジェクトを着実に推進しました。

・職員の自己研鑽と医学の発展に寄与するため、国の公的助成による研究が 17 件（うち新規４件）、医師による学会誌等への論文発表が 42 件など多くの実績を挙げました。また医薬品の治験にも積極的に取り組み 25 件（うち新規７件）の治験を行いました。

・医学の発展や社会福祉の増進等に寄与するため、大学、学会、社会福祉法人等へ 54 件、４億 8,900 万円の寄附を行いました。

・WEB セミナーを６回、医学健康講座を 12 回開催すると共に、TV、ラジオやホームページ等を活用し市民などへの正しい医療知識の普及に努めました。

2）総合南東北病院、南東北医療クリニック、南東北眼科クリニックの実績は新型コロナウイルス感染症の鎮静化などにより、入院患者数は１ヶ月あたり延べ 1,000 人ほど増加しましたが、外来患者数については１ヶ月あたり延べ 2,000 人ほど減少しました。

3）南東北がん陽子線治療センターの治療患者数は、昨年度を若干上回る 588 人となりました。また、南東北ＢＮＣＴ研究センターの治療実績は 19 増の 115 例となりました。

４）南東北福島病院は、年間の入院患者数は延べ 1,000 人ほど減少し、外来患者数も延べ 1,500 人ほどの減となりました。

5）東京リハビリテーションセンター世田谷は、これまでの運営内容を世田谷区と共に検証し、区行政支所単位の業務連携を強化し着実に稼働と収益を伸ばしました。

6）介護老人保健施設、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、通所リハビリテーションセンターの実績は、新型コロナウイルス感染症の鎮静化などにより、入所系施設利用者は約 1,500 人、通所系では約 1,400 人の増加となりました。

3　主な事業成果

1）　収支関係

令和７年度の経常収益は 40,726 百万円、令和６年度に比べ 1,918 百万円の増収となりました。経常支出は 38,931 百万円、令和６年度に比べ 1,435 百万円上回りました。経常利益は 1,854 百万円となり、令和６年度の 1,317 百万円に比べ 538 百万円の増益となりました。

新型コロナウイルス感染は継続しておりますが、院内クラスターの発生も抑えられ、コロナと共存できる体制が図られております。平均在院日数の短縮、新規入院者数や手術件数の確保、救急受け入れの徹底、陽子線の安定稼働、入院患者延べ数の増加などによって収入増を図ることができました。また開設７年目の東京リハビリテーションセンター世田谷の回復期リハ病院等は連続して黒字を達成しました。

一方で費用面は、化学療法の増に伴う医薬品費、物価上昇による値上げ等による材料費の増加、医師等の人員増に伴う人件費増がありましたが、電気料等を節減するなど支出増加幅を抑えて、経常利益は経常収益の大幅増加を起因に増益となりました。

2)　職員数

	令和８年度	令和７年度	令和６年度	令和５年度
男　　性	1,009	998	980	960
女　　性	2,102	2,039	1,988	1,962
合　計	3,111	3,037	2,968	2,922
	(R8.4.1 現在)	(R7.4.1 現在)	(R6.4.1 現在)	(R5.1 現在)

3)　患者数

入院患者延数（郡山は本院のみ）

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
郡　　山	181,378	169,694	167,171
福　　島	51,542	52,586	52,659
世　田　谷	31,428	30,042	31,653
合　計	264,348	252,322	251,483

外来患者延数（郡山は本院、医療・眼科クリニック、陽子線センターの合計）

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
郡山	478,314	502,308	504,714
福島	49,477	51,035	53,742
須賀川	2,267	9,007	10,084
滝根	7,364	8,107	10,369
裏磐梯	2,580	2,785	3,626
泉崎	13,609	14,218	15,013
合計	553,611	587,460	597,548

4) 手術件数

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
郡山	10,131	10,262	10,337
福島	739	734	769
合計	10,870	10,996	11,106

5) 救急車台数

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
郡山	7,141	7,293	6,512
福島	766	776	737
合計	7,907	8,069	7,249

6) 陽子線治療患者数

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
患者数	588	569	564

7) ＰＥＴ検査実績

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
検査数	5,840	6,235	6,136

8) 介護老人保健施設入所者延数

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
ゴールドメディア	34,500	34,056	32,604
福島	35,009	35,186	34,862
三春	33,555	32,566	30,527
川俣	32,832	32,439	32,188
泉崎	27,057	27,575	27,333
世田谷	33,991	33,611	32,562
合計	196,944	195,433	190,076

9) 通所リハビリ等利用者数延数

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
ゴールドメディア	20,079	18,851	17,668
須賀川	19,009	20,055	18,345
福島	12,120	11,422	11,044
川俣	10,206	9,556	8,789
三春	13,132	13,153	12,880
泉崎	10,039	9,823	10,168
世田谷	19,378	19,659	18,771
合　計	103,963	102,519	97,707

４　理事会、評議員会の開催

・第１回理事会
令和７年6月11日
議題：令和６年度 事業報告・収支決算について
報告：本院建替えの状況について

・第１回評議員会（Web 併用）
令和７年6月30日
議題：令和６年度 事業報告・収支決算について
報告：本院建替えの状況について

・第2回理事会
令和８年3月11日（Web 併用）
議題：令和８年度事業計画・収支予算について
金融機関からの借入について
公益目的支出計画の変更について
報告：評議員・非常勤役員・監事の報酬支払方法変更に関する事項について
第3回メディカルヒルズ郡山まちづくり協議会について

・第2回評議員会（Web 併用）
令和８年３月26日
議題：令和８年度事業計画・収支予算について
金融機関からの借入について
公益目的支出計画の変更について
非常勤役員等報酬規程の変更について
使用人兼務役員に対する給与について
報告：評議員・非常勤役員・監事の報酬支払方法変更に関する事項について
第3回メディカルヒルズ郡山まちづくり協議会について

5　主な出来事・行事等

・南東北グループ入社式
　令和７年４月１日　各施設で分散入社式　　グループ全体で 540 名入社

・南東北グループ新入職員歓迎会
　令和７年４月 16 日　郡山市（ホテルハマツ）　約 600 名参加

・病院機能評価を受審（評価者：公益財団法人日本医療機能評価機構）
　令和７年６月 18～19 日　郡山市（総合南東北病院）　院内各部署で対応

・初期臨床研修医合同交流会
　令和７年８月２日　郡山市（磐梯熱海温泉・ホテル華の湯）　113 名が参加

・令和６年度 紺綬褒章伝達式（受章者：一般財団法人脳神経疾患研究所）
　令和７年８月４日　福島市（福島県立医大）　渡邉貞義理事長・紺野愼一院長出席

・第 24 回 日本臨床医療福祉学会
　令和７年９月 26～27 日　秋田市（あきた芸術劇場ミルハス他）　約 200 名参加

・地域災害拠点病院災害対応訓練
　令和７年 10 月４日　郡山市（総合南東北病院）　約 160 名参加

・第 31 回 病院まつり 及び 第 21 回 南東北グループ大運動会
　令和７年 10 月 12 日　新病院建設予定地（郡山市富田町）約 3,000 名参加
　※近隣住民の参加含む

・第７回 STR 医学会
　令和７年 11 月８日　郡山市（総合南東北病院）　発表者 19 名　約 100 名参加

・第 38 回 南東北連合学術学会
　令和７年 11 月９日　郡山市（総合南東北病院）　発表者 43 名　約 120 名参加

・第３回 メディカルヒルズ郡山まちづくり協議会
　令和８年１月 21 日　郡山市（ふくしま医療機器開発支援センター）47 名参加

・令和７年度 紺綬褒章伝達式（受章者：一般財団法人脳神経疾患研究所）
　令和８年３月 11 日　福島市（福島県立医大）　渡邉貞義理事長出席

・第 21 期（令和６年度入職） 初期臨床研修医修了式
　令和８年３月 19 日　郡山市（総合南東北病院）　修了証書授与 16 名